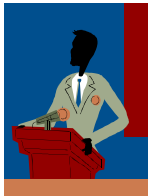


プログラム (諸事情により変更する場合がございます)

12:15		開 会 宣 言
研 究 発 表 会	12:25 12:55	<p>“ 中国におけるイオン商品市場の現状及び中国産機能性素材の紹介 ”</p> <p>桂林新竹大自然生物材料有限公司 取締役社長 韋 仲華</p>
	12:55 13:25	<p>“燃費向上・排気ガスのクリーン化～マイナスイオンを利用した車の環境負荷の低減～ ”</p> <p>コナストーンズ有限公司 代表取締役 高師 歳国</p>
	13:25 13:55	<p>“ 水と健康～多機能性セラミックスと浄水器～ ”</p> <p>株式会社三優 代表取締役社長 平尾 修 有限会社アズ・リーディング・カンパニー 代表取締役 岡田 知己</p>
	13:55 14:25	<p>“ 一般住宅におけるICASを用いた室内空気質改善効果の確認 ”</p> <p>アーテック工房株式会社 上原 竜哉</p>
	14:25	
記 念 講 演	14:50 15:50	<p>“ 水 の 基 礎 と 活 性 水 並 び に 水 の 将 来 展 望 ”</p> <p>ウォーターデザイン研究会理事長 久保田 昌治 氏</p> <p>水は重要だ重要だと言われながら、実際には全く軽視されていると考えざるをえない。もし液体の水が水分子の単なる集合体であれば、融点は-100℃、沸点は-80℃くらいになる。しかし実際には融点は0℃、沸点は100℃と非常に高く、大きな分子量の化合物でないと示さないような高い融点や沸点を持っている。この事実を説明するには水分子が幾つか集まってクラスターを形成していると考えないとうまく説明できない。水分子は極性分子であり水素結合する特性を持っていることが水分子の最も特徴的なところであり、この水の特性が水の難しさと有用な働きの最大の原因になっていると考えられる。ここでは水のこのような基本的なこととともに、近年注目されてきている水の活性化と活性水並びに水の将来展望について生体内の水を例に考えてみたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水入門 2. 水の活性化と活性水の用途 3. 水の将来展望
	15:50 16:50	<p>“ マイナスイオンと抗酸化力～スポーツ選手への検証を通して～ ”</p> <p>富山医科薬科大学名誉教授 不二越病院顧問 医学博士 田澤 賢次 氏</p> <p>マイナスイオンあるいは還元イオンは細胞の活性化を促し、自律神経の調節や血液の浄化疲労回復などに効果があり、一方ではプラスイオンは身体の細胞から電子を奪い、細胞を酸化し、代謝異常をきたすなどマイナスの作用が指摘されている。最近、マイナスイオンの効果をうたった商品が市販されるようになり、その種類も年々増加している。しかしながら、マイナスイオンの効果については未解明な部分も多く、健康促進効果については疑問視する研究者がいることは確かである。今回は、従来の放電周期が長い、電極間の距離が短いものと異なり、放電周期を約40%短縮すると同時に平板電極に変えて、網目状の導電布の電極になる装置で、装置より3m離れた空間においてマイナスイオン濃度が27000/ccのものを使用した。先ず予備実験として、室内において頭側より放射されたマイナスイオンを吸引印加したヒトの体表面温度変化と各種血液生化学的分析、尿中ORP、更に脳波α2波の変化をみた。次に、スポーツ選手を対象に、ソルトレーク冬季オリンピック選手を含むクロスカントリースキー選手による全日本スキー連盟主催の立山強化合宿においてマイナスイオン抗酸化能を、尿中8-OHdG、その生成速度、尿中イソプラスタンとその生成速度、CoQ10酸化率などを測定した。方法はイオン発生装置を組み込んだものと組み込まないものの2種類使用したが実験者及び選手には全く知らされていない方法を採用し実験した。結果については講演で結論を述べたい。</p>
16:50		閉 会 宣 言

講師紹介



久保田 昌治 氏

理学博士
ウォーターデザイン研究会理事長
日本機能性イオン協会理事

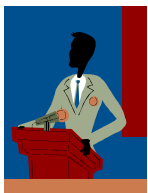
1960年東北大学理学部卒。1962年同大学大学院修士課程修了後、東北大学助手、静岡大学工学部講師を経て、1970年株式会社日立製作所日立研究所入社、主任研究員、本社環境本部、機電事業部勤務を経て、1995年退社。この間1983年から5年間にわたり(財)造水推進センターにて、国の水関連プロジェクトの開発に従事。また、1994年農林水産省「水資源再評価委員会」委員。1983～2003年茨城大学工学部非常勤講師。現在ウォーターデザイン研究会理事長、株式会社ウォーターデザイン研究所所長。

その他の主な事項

新宿鍼灸柔整専門学校非常勤講師
サトルエネルギー学会顧問

主な著書・監修

「超純水の科学」(リアライズ社)
「新しい水の科学と利用技術」「水の機能化の基礎と応用」(サイエンスフォーラム)
「新しい水の基礎知識」「浄水・整水・活水の基礎知識」(オーム社)
「分離精製技術ハンドブック」「水の百科辞典」「これでわかる水の基礎知識」「水ハンドブック」(丸善)
「水の再発見」(光琳)
「初歩から学ぶ機能水」(工業調査会)
「水のはなし」(日刊工業新聞社)
「よみがえる水の不思議」(日本磁気活水器協会)
「21世紀体にいい水全情報」(コスモトゥーワン)



田澤 賢次 氏

医学博士
富山医科薬科大学名誉教授
不二越病院顧問

1965年新潟大学医学部医学科卒業、1970年同大学大学院医学研究科修了後、新潟大学附属病院第一外科学講座助手を経て、1977年富山医科薬科大学医学部外科学講座へ異動後、助手 講師 助教授を経て、1989年アメリカ合衆国へ文部省在外研究員として留学。帰国後、1995年富山医科薬科大学（現富山大学）医学部成人看護学科教授 学科主任 学科長を経て2005年退官後、名誉教授に就任し現在に至る。

その他主な活動

1968～2005年

日本癌学会・日本消化器外科学会・日本臨床電子顕微鏡学会・日本大腸肛門病学会 評議員
日本外科学会・日本癌治療学会・国際大学結腸直腸学会 会員
日本バイオセラピー学会学術集会会長 ・日本ストーリーマリハビリテーション学会理事長

現在

日本オリンピック委員会強化スタッフ委員(医・科学スタッフ)・日本アーユルヴェーダ学会理事長
全日本スキー連盟競技本部ナショナルチームクロスカントリー医学サポート部会委員
富山県スポーツ医・科学的トレーニング推進委員会委員長

主な著書

「創傷管理と自然治癒システム」
「皮膚保護剤とストーマスキンケア」
「運動能力のアップの新技术」(遠赤外線照射の熱ショック蛋白誘導による体力向上について)
「天然アップルペクチン—腸内ミステリー」(りんごの効用について)
「ナイトミステリー」(不眠、磁気、遠赤外線などの効用について)
「裸足の抱擁」(足裏の大切さと靴の進化の必要性について)

参加費 一般 ￥10,000-
 会員 ￥5,000- (会員登録者以外の社員 ￥7,000-)

懇親会 ￥5,000-

当日17:15より レストラン ボヌール(4F)にて、懇親会を開催致します。
 イオンの情報交換や名刺交換など 御交流の場として ふるってご参加下さい。

＜ 申込要領 ＞

下記申込み用紙にご記入の上、FAX又は郵送にて日本機能性イオン協会事務局にお申込み下さい。
 参加費は下記口座へお振込み下さい。お申込み・お振込みの締切りは **10月20日(金)** です。
 申込み者御本人が欠席される場合の返金は致しませんので御了承下さい。その場合、代理の方が参加
 頂いても結構です。お申込みは受付順となりますが、満席の場合はお断りすることがございます。

振込先 東京三菱UFJ銀行 江坂駅前支店 普通0994311 口座名：日本機能性イオン協会
 郵便局総合講座 記号14020 番号28781471 口座名：日本機能性イオン協会

FAX No.
 06-4809-4099

第5回 記念講演 参加申込書

参加企業名			TEL
〒 御住所			FAX
参加費(税込み)	参加人数	小計	参加者名
一般	￥10,000	人	
会員	￥5,000	人	
登録者以外の社員の方	￥7,000	人	
懇親会	￥5,000	人	
お振込み合計金額 : ￥ _____ <small>(振込手数料は御負担下さい)</small>			請求書 領収書 <small>(要・不要) (要・不要)</small>

上記御住所に当協会のご案内をお送りさせて頂くことがあります。個人情報に基づき厳重に保管させて頂きます

企画実行 : 日本機能性イオン協会 事業委員会

特定非営利
 活動法人

日本機能性イオン協会

JAPAN ASSOCIATION OF ION
 大阪市東淀川区東中島1-19-11 大城ビル5F



RESEARCH AND APPLICATION
 tel: 06-4809-4098 fax: 06-4809-4099